



Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

週報

例会 NO 24 (発行NO)

1991. 4. 24 (発行日)

国際ロータリー第275地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

1990～1991

RIテーマ

ロータリーを高めよ

— 思いを尽くし熱意を尽くし —

RI会長

パウロV.C. コスタ

1990～'91会長方針

友情と熱意を育てよう

第24回例会報告 (4/17)

特別代表 由井 重光

司会 親睦 海野 栄一

☆点 鐘 副会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング 「奉仕の理想」

ソングリーダー 菊池 敏

☆ビザ紹介 副会長 赤尾 恭雄

臼井 千秋 (多摩市長: 多摩RC名誉会員)

☆会務報告 副会長 赤尾 恭雄

* 只今、田中会長、宮本幹事、吉尾実行委員長、城倉SAA委員は府中RCにCNのお礼に出席しています。

〔チャーターナイトお礼訪問〕

・4/10 狛江多摩川RC 赤尾、吉尾、吉沢

・4/11 稲城RC 田中、赤尾、宮本、吉尾、海野、奥木

・4/12 武蔵府中RC 宮本、海野

・4/12 狛江RC 田中、赤尾、奥田

・4/16 多摩RC 田中、赤尾、宮本、海野、横倉(恒)、橋口、大熊、小島、萩生田

・4/17 府中RC 田中、赤尾、宮本、城倉

※ 3通のお礼状が届いております。

①調布むらさきRCから、4/4 京王プラザホテルで開催されたCNの全員登録及び参加について。

②田無けやきRCから、CNキャラバンで案内にきました。その協力について

③多摩ライオンズクラブから、4/9 開催されたCNに会長が出席したことについて。

※地区青少年交換委員会から交換学生の推薦依頼がきています。当クラブの対応については後日会長が幹事から報告があると思います。

※今晚7時から、いちょうの間で次年度非公式クラブ協議会を開催します。

会長から次年度活動方針について発表があり、各委員会活動計画を立案しなければなりません。その基礎的な会議ですので、各委員長は是非出席して下さい。もし欠席の場合は副委員長に委嘱して下さい。

☆幹事報告 副幹事 小城 章員

5/19.20 3クラブ合同親睦旅行の参加者は田中、赤尾、宮本、萩生田、小島、大熊、城倉、奥田会員の8名です。15名以上の予定ですので皆さん都合をつけて参加して下さい。理事の方は是非参加をお願いします。

【チャーターナイト記念事業への謝辞】

臼井多摩市長

先日は多摩グリーンロータリークラブのチャーターナイト、大変お目出度い席にお招きを頂きまして有難うございました。大変に盛大に式典、祝宴が行われまして心からお目出度うございますとお祝いを申し上げます。

その際に多摩市の福祉に役立てて頂きたいと、皆様方から多額のご厚志を頂戴致しまして、誠に有難うございました。お気持ちを良く生かして使途を充分考えながら使わせて頂くように考えています。市民に変わりまして心からお礼を申し上げます。

何時もロータリーの皆様には地域社会の奉仕に大変各方面で御活躍を頂き地域社会の為に貢献を頂いている訳ですが、どうかこれからもよろしくお願い致します。

☆委員会報告

★出席委員会

大熊 将夫

〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	39	28	6	5	87.18%
前週 訂正	39	30	4	5	87.18%

〔本日のメークアップ〕

小島、宮本、田中（4/16 多摩）

奥木、吉尾（4/11 稲城）、城倉（4/17 府中）

〔欠席届者〕 萩生田、内藤、増川、津守、横倉（恒）

〔先週のメークアップ〕

萩生田、横倉（恒）、（4/16 多摩）

奥田（4/12 狛江） 隅（4/15 西北）

★親睦委員会

足立潤三郎

ニコニコBOX

由井 重光 永田さん先週は大変お世話になりました。

赤尾 恭雄 本日は会長代行を努めさせて頂きます。よろしく。

隅 耕造 今月はロータリー雑誌月刊です。◎市長をお迎えして。

海野栄一、遠藤幸郎、伊神 稔

◎良い天気であれしくなって（初夏）

新野源四郎、北村文彦、小城章員。

吉田 文夫 創立総会の際に頂いたチューリップが、きれいな花をつけましたので。

内藤 實 3月の営業成績が良かったので。

橋口 洋三 家内が誕生日祝いを頂いたので

以上合計 ￥27,000

★雑誌委員会

隅 耕造

【雑誌月間に当たって】

「ロータリーの友」が皆さまには毎月届いていますが、その中には役に立つ事、内容の深い記事も沢山あります。この機会にもう一度見直して頂ければ有難たいと思います。

全世界で国際ロータリー機関誌で認められているものは「ザ・ロータリアン」と「レビスタ・ロータリア」です。「ザ・ロータリアン」は50万強、各国の機関誌、日本の「ロータリーの友」は12万部発行されています。12万部の雑誌の発行数はベストセラーに入ります。読まれていないベストセラーにもなるのではないかと思います。2月号に元R1理事の菅野多利雄氏の「あなたにとってロータリーとは何か？」と書かれています。その中に「ロータリーは忙しい時間をさいて自分を提供する人達の集まりである。それは積極的に人生を生きようとする人々の指標であり、人生そのものである」ロータリーの真価を発揮するのはロータリアン一人一人の「行動」であると含蓄の深い事が書かれています。その他、ポール・ハリスも「雄大な大河も山の奥深く流れ出る一つ一つの溪流が集まって次第に大河となるのだ」「絢爛たる美を競う花園も一本一本の花によって成り立っている」ロータリーの偉大さ影響力も一人一人のロータリアンの「心」と「行動」によつて支えられている。こういう内容のあるものがあります。

こうしたロータリー本来の精神に立ち戻って「ロータリーとは何か」を見つめ直す必要があるのではなからうかと結んでいます。

その他、諸々の内容のあるものが載っていますので、再度時間等がありましたら「ロータリーの友」をもう一度、振り返って見て、是非そういった感動なり、得るものを得て頂きたいと思います。

★CN実行委員会報告

戸田実行委員会会計

※昨日CN立替金、清算の件でFAXが流れたと思います。集まりが非常に悪いです。締めようようにも締められない。報告も出来ない状態でストップしています。各自の立替え

は出して頂いたので終わったのですが、業者の請求書が残っています。次回は最終例会で、会計報告をしたいので、業者の方には、今週中には何んとしても請求書を出して頂くように各委員会で催促して頂きたいと思えます。以上、出ない時は打切りという形で御厚志と言う事でお受け致します。

※CNのピテオが編集出来まして完成しました。一本 5,000円で、注文によって販売致します。

イニシエーションスピーチ

【ロータリーにチューニング】

菊池 敏

私は昭和22年3月茨城県下妻市に、両親と6人兄弟の末っ子として生まれました。父は栃木県の銀行にいましたが、体が弱かったため続かず、高校の教員になり戦後復員後郷里の茨城県に戻り、下妻一高の教員に復職して2年後私が生まれました。しかも、母は私の1才の誕生日に戦時中の無理がたたき他界してしまいました。私は虚弱体質で、保健所の先生によれば生きられないだろうと言われたそうです。そんな私が現在まで無事で元気でいられたのは、4才頃父の再婚で我が家に来てくれた現在の母のお陰と感謝してやまなところです。さて、ここで茨城県の下妻について少しご紹介致します。東に筑波山、西に鬼怒川、はるか北には日光連山を抱き、さしたる産業がない代わりに町をはずれるとどかな田園が広がり町は学園都市として静かなたたずまいの町でございます。ここで高校まで過ごし、卒業後、静岡県河合楽器調律養成所に入り1年後、正社員として立川支店に配属され10年の間に立川、青梅、八王子、調布と順に勤め退社し、ヤマハの特約店に入社、3年間小売りの勉強をし、53年退社と同時に独立しまして一人で3年程やっておりましたが、従業員が少しずつ増えたのを機に愛宕から落合に事務所を設立し59年に株式会社



として現在に至るのですが、今まで人材の確保という点が一番難しい問題となりましていろいろ考えたあげく自分のところで調律師を養成するのが一番ということでJB1という会社を創り、東京チューニングスクールを友人と設立し現在に至ります。私共の会社はまだまだヨチヨチ歩きの段階ですので、東京多摩グリーンロータリークラブに入りまして、これから機会ある毎に皆様のお話を伺いながら是非とも栄養剤として、人間形勢、会社運営に、勉強させて頂けたらと思っております。また私のセールスポイントは若いということだと思いますので、経験を必要とすることは皆様にお任せして、私はそのお手伝いが出来れば10年後位には本当のロータリアンに近づけるのではないかと思います。どうぞ今後ともよろしくご指導のほどお願い致します。

↑

【私の転職・教訓】

小城 章員

私は長野県の上諏訪で諏訪湖のほとりで生まれ育ちました。諏訪湖と言いますと、周囲20kmちょっとの小さな湖ですが、我々の小、中学時代には、夏は水泳、冬はスケートをしたもので、今でこそ汚水のたまり場と化している湖も昔はずい分きれいな水であったことがお判りいただけることと思います。あの湖が全面結氷するものですから諏訪湖の対岸の高校に通っている何人かの友人は氷の上を横断して通学していました。私が東京を初めて見たのは18才の時、初めて見た新宿の街に大変びっくりしました。東京という所は毎日お祭りをしているのかと思いました。田舎ではこのように大勢の人が歩いているのはお祭りの時以外ないからです。初めて勤務したのは建設会社の大阪支店でした。建設会社の事務職といいますと、ご存知の方も多いと思いますが、どうしても土木建築の技術者を超えられない。10年くらい勤務していると、そんなことも不満になり又、30才前半という1つ



の節目との気持ちから転職を決意した次第です。現在の司法書士を始めて今年で16年目となります。司法書士というのはご承知のように不動産や会社の登記を主な仕事としておりますが、この間、土地の売買がらみで偽造印鑑を故意に持って来た者、所有者になりすまして来た者、いろいろな事例がありました。本人である事を確認するのは、運転免許証の提示、印鑑証明、実印、本人の生年月日、十二支の干支、本籍地、子供の名前、子供の生年月日を言わせて確認しています。本人でないと受け答えがしどろもどろする、私が常に教訓にしている例に一昨年、昨年と話題となった「杉並区老女殺害（遠藤うめさん）土地詐取」事件です。私がプライベートまた業務の上でお会いできるのは、非常に限られた業種の方ばかりでした。近頃では40人に近い多方面にわたる分野の方々とお話できる機会があるこのロータリークラブは素晴らしいなあと思いつつあります。例会への出席だけはなんとかして達成したいと思い、やっとの思いで過ごしている私にとっては、まだまだロータリーの本当の姿は分かるわけなく、推薦して頂いた大熊さんには恨み言をいう状態です。早く、大熊さんからこの肩の重荷をとり除いてあげなければと思い、私自身努力して行かなければと思っております。

†
【先祖が三浦屋】 松原 健

私は東京浅草で生まれ浅草で育ちました。戦争が厳しくなったので池袋から東上線の板橋区常盤台に引越しました。そこは住宅街で隣が三船九蔵宅、柔道のものすごい先生。反対隣が立教大学文学部の金子部長宅、真中に挟まれた邸宅のお坊ちゃま育ちです。それ



以来ずうっとお坊ちゃまです。

小学校は戦争中、疎開等で5回も転校しました。都内が3校、千葉県が1つ、埼玉県が1つです。父親が会計士だったので、多少の金銭的ゆとりがありましたので、中学から大学まで行くのに学校を変えるのは可哀相と言う事で一貫教育がある立教中学へ入りまして、そのまま最後までいて、昭和36年に卒業してサラリーマンを7年間やりましたが、サラリーマンは合わないと言う事で今の人形屋になりました。学校の同級生の家が人形屋をかなり大きくやっておりましたが倒産すると言う事で借金共父親が買取って私に商売をやらせてくれたからです。マイナスから始めたのですから最初のスタートが良ければ今の久月、秀月に勝てたと思います。マイナスからスタートしましたから0になるのに10年かかり、それから現在まで12年しか経っていません。何故松原なのに三浦屋なのか、不思議に思われる方もいると思います。先祖は三浦屋という屋号で、過去帳を調べると加賀百万石に出入りした砂糖問屋でした。今やっている屋号の三浦屋はそこから取った屋号です。

端午の節句に鯉幟を何故飾るかご存知ですか、鯉幟を立てる為には竿がある、竿は杉の丸太が良い、檜に矢車を付けると「火の車」と言われ良くない。檜で掲げる場合は矢車をつけない方が良い。竿は男のシンボル、その上に玉を付ける。矢は魔除けで悪魔を貫く、矢車は矢を沢山付けてくるくる廻すので魔を払う。吹流しは川、滝のきれいな水の意味で赤は朱雀、青は青龍、白は白虎、中国の魔除けからきています。その下に鯉を泳がせる、鯉が天に昇った時は龍になる、龍は青龍、架空の動物で王様になれる動物です。その様なものに守られて、子供が魔から避けて大将のように、王様のようにになれるという願望で鯉幟を上げるのです。仕舞ったままの鯉幟がありましたら出して挙げて下さい。



東京多摩グリーンロータリークラブ

*事務局：〒206 東京都多摩市落合 547

多摩センタービル7F ☎ 0423-72-6463

例会日：毎週水曜日 12:30 月の最終例会日 18:30

会長：田中 實 特別代表：由井 重光

幹事：宮本 誠 会報委員長：橋口 洋三

*例会場：多摩そごうデパート7Fサファイアバンケットルーム